

用例が見える。『漢語大詞典』では「門窓」と説明し、『淮南子』「汎論訓」の「夫戸牖者、風氣之所從往來」の例を引く。

▼「不出戸牖」…家から一步も出ない。

『孔子家語』「王言解」の「其不出戸牖、而化天下」の用例、および『呉志』「趙達傳」の「不出戸牖、以知天道」の例がある。

『菅家文章』「75秋日山行二十韻」にも「戸牖基千峙、江湖帶一條」の句が、また『菅家後集』「477 詠樂天北窓三友詩」にも「開方雖窄南北定、結宇雖疎戸牖宜」の句が見える。

補説①

○中国古典籍に出てくる「月」にまつわる事物・事象の例

『初学記』『藝文類聚』の「月」には次のような一文を載せる。

①「萑莢」の例

『初学記』「卷第一」「月第三」の「事対」に、「帝王世紀云、堯時有草夾階而生。每月朔日生一莢、至月半即生十五莢、至十六日後、日落一莢、至月晦而盡」の一文がある。

▼「莢」(「萑莢」)こよみぐさ。中国の伝説に見える草。こよみの月の大小を知っていたという。(『新字源』)。
萑莢は堯帝のとき、生えたというめでたい草。月の一日から十五日までは毎日一葉ずつ生じ、十六日から